### ネットワーク参加医療機関基本情報

1. 医療機関基本情報 2024年3月時点

1	医療機関名	独立行政法人労働者健康安全機構 岡山労災病院
2	医療機関名 ふりがな	どくりつぎょうせいほうじんろうどうしゃけんこうあんぜんきこう おかや
_		まろうさいびょういん
3	医療機関の英語表記	Okayama Rosai Hospital
4	実施医療機関の長の氏名	伊達 勲
5	実施医療機関の長の氏名 ふりがな	だて いさお
6	実施医療機関の長の氏名 英語表記	date isao
7	ホームページ公開の有無	有
	有の場合: URL	https://www.okayamah.johas.go.jp/index.php
8	郵便番号	702-8055
9	住所	岡山県岡山市南区築港緑町1-10-25
10	代表電話番号	086-262-0131
11	病床数	358
12	医師数	87

## 2. 体制(治験事務局等)

ے.	14-102 (10-10/2-30) - (3-1)	
1	治験事務局 担当部署	薬剤部
2	治験事務局 TEL	086-262-0131
3	治験事務局 FAX	086-262-1780
4	治験事務局 メールアドレス	chiken@okayamah.johas.go.jp
5	治験事務局員数	1
6	CRC数	外部委託のため変動
	SMO利用の有無	有
7	フルサポート(治験事務局+CRC業務): SMO名	ノイエス株式会社、シミックヘルスケア・インスティテュート株式会社・株式会社EP綜合
	CRC業務のみ: SMO名	
	治験事務局のみ:SMO名	
8	緊急時の対応手順	院内
	院外の場合;搬送先の医療機関名	
9	モバイル搭載機器の持ち込み制限	制限なし
10	書類の15年以上の保管の可否	可
	直近の実地調査	
11	PMDA	2018/4/4
	FDA	
	EMA	
12	記録保存責任部署	薬剤部
13	記録保存場所(治験期間中)	薬剤部・SMOで保管
	記録保存場所(治験終了後の長期保管)	薬剤部管理で場所は薬剤部とは別の場所

### 3. IRB

	· <del></del>		
	IRB(院内)設置の有無	有	
1	有の場合:名称	岡山労災病院 治験審査委員会	
	名称 英語表記	okayama rosai hospital institutional review board	
	設置者	岡山労災病院 院長	
2	IRB開催日	1回/月	
3	休会月の有無	休会月あり	
	有の場合:休会月	8月	
4	資料の締め切り 記載例)毎月28日必着等	14	
5	電子資料配布	未実施	
	電子資料配布の使用システム名		
6	IRB資料の作成方法に関する留意事項		
7	業務手順書公開場所のURL	https://www.okayamah.johas.go.jp/iryou/index.php	
8	委員名簿公開場所のURL	https://www.okayamah.johas.go.jp/iryou/index.php	
9	議事概要公開場所のURL	https://www.okayamah.johas.go.jp/iryou/index.php	
10	継続審査の実施時期	治験毎に実施	
	外部設置IRBとの契約状況	有	
11	外部IRBの名称	労災病院治験ネットワーク/CMA-Okayama治験・臨床研究ネットワーク	
		セントラルIRB	
12	治験依頼者の出席要否	不要	
13	治験依頼者が指定するセントラルIRB受入れ可否	可	
13	治験化親有が指定するセントプルIRD文人和可否	<sup>[1]</sup>	

## 4. 治験薬管理

1	治験薬管理部署	薬剤部	
2	治験薬管理者部署の英語表記	department of pharmacy	
3	治験薬管理者 職名	薬剤部長	
4	治験薬管理業務に関するDelegation (A~Dの中から選択)	А	
	A:補助者を指名する B:補助者を指名しない	C:試験毎に協議する D:その他(体制を記載)	
5	治験管理者 または 実務担当者 メールアドレス	chiken@okayamah.johas.go.jp	
6	麻薬保管の可否	可	
	冷凍保管の可否	否	
7	温度設定		
	温度管理方法		
	自動記録の場合:記録の確認方法		
	冷蔵保管の可否	可	
8	温度設定	4℃	
	温度管理方法	自動記録および手書	
	自動記録の場合:記録の確認方法	Testo Saverisにて記録確認	
9	温度計の精度管理記録の有無	無	
	有の場合:実施方法および頻度		
10	時間外・休日の治験薬の払い出し	否	
11	非盲検薬剤師の対応	可	
12	治験薬施設内破棄の可否	要相談	
13	第三者機関(運搬業者等)を通した治験薬の搬入・回 収の可否	可	

### 5. 検査部門

	快直部门		
1	院内検査基準	単値の公開の有無	無
	有の場合:し	JRL	
2	外注検査受力	人の可否	可
3	検体処理の可	可否	可
4	常温遠心機の	の有無	有
5	冷蔵遠心機(	D有無	無
	設定温度範囲	<b>±</b>	
	冷蔵検体保管	管の可否	可
6	温度管理記錄	录の有無	有
	有の場合:	己録の手法	手入力
	自動記録の場	場合:記録の確認方法	
	冷凍検体保管	管の可否(温度別)	
		温度管理記録の有無	無
	-4℃	有の場合:記録の手法	
		自動記録の場合:記録の確認方法	
7		温度管理記録の有無	有
ľ	-20℃	有の場合:記録の手法	手入力
		自動記録の場合:記録の確認方法	1日1回
		温度管理記録の有無	有
	-80℃	有の場合:記録の手法	手入力
		自動記録の場合:記録の確認方法	1日1回
	検査機器の外	<b>朴部精度管理・認定の有無</b>	有
8		交正証明書公開の可否	否
	非公開の場合	合:校正証明書複写提供の可否	可
9		本直送の可否	可
		多断機器(X-P)の有無	有
		多断機器(CT)の有無 	有
		多断機器(MRI)の有無 	有
10		也の画像診断機器	超音波、RI
		器の精度管理記録の有無 	有
		実施方法および頻度 	装置メーカーによる定期点検 2~4回/年
		ている画像診断機器	PET
	画像記録の	复写の可否	可

## 6. 診療録

1	カルテの媒体	電子カルテ
2	電子カルテの場合	
2	電子カルテの商品名(バージョン)	両備システムズ(Cube Smart)

### 治験関連業務に関する情報

## 1. 治験関連文書

1	統一書式の使用	改変せずに使用を徹底
2	統一書式以外の書式の使用の有無	無
_	使用書式を公開しているURL	
	院内ICFテンプレートの有無	無
3	院内ICFテンプレートの使用の要否	
3	R&D Head Club作成のCommon ICF テンプレート の使用の可否	否
4	原本の種類	紙保管
5	電磁的記録の保管の場合:使用しているシステム名 (バージョン)	
6	電磁化チェックシートの公開の可否	否
	公開可の場合: URL	
7	押印の要否	押印不要
	書式により必要の場合:必要な文書の種類	
8	治験責任医師の文書の実施中の保管場所	一部は院内、一部はSMOで保管

## 2. 契約書

	契約書ドラフトの有無	無
1	有の場合:契約書等の公開URL	
	変更の可否	
2	治験依頼者様式の受入の可否	可
3	契約締結者 職名	病院長
4	契約単位	複数年度
5	IRB承認日から契約締結の目安	14

## 3. 事前ヒアリング/事前調査

_	·		
		事前ヒアリングの要否	必要
	,	有の場合:ヒアリング議事録の作成	作成なし
	1	事前ヒアリング資料の種類	
	1	(書式を公開している場合はURL)	
	1	事前ヒアリング資料の部数	
		ヒアリングの内容	stadyの概要

## 4. 費用の算出方法

1	算出方法	ポイント票
Ĺ	出来高払いの場合の詳細	適宜相談
	ベンチマーク型コスト算出の経験有無	無
2	ベンチマーク型コスト算出の受け入れ可否	否
	受け入れていない場合:相談の可否	否
3	SDV費用 追加の有無	無

#### 5. モニタリング関係

	1	直接閲覧用スペースの有無	有
	1	有の場合:室数	1
		カルテの閲覧制限について	有
	ว	電子カルテの場合:直接閲覧用アカウント発行	可
	_	閲覧権限	全ての患者
۱		電子カルテ閲覧にあたり依頼者への連絡事項	薬剤部へメール
		リモートSDV実施の可否	否
1		可の場合:リモートのタイプ(A~Eの中から選択)	
1			一大問覧

A:電子カルテを専用のセキュリティシステムを介して閲覧

B:紙カルテ又は電子カルテの印刷物をPDF化し専用のセキュリティシステムを介して閲覧

C:紙カルテ又は電子カルテの印刷物をPDF化の上、クラウドシステムに保存し閲覧

D:紙カルテ又は電子カルテの印刷物をPDF化しWeb会議システムのリモート制御機能を利用して閲覧

D: Web会議システムのWebカメラ機能を利用して医療機関スタッフが電子カルテ画面や原資料等を投影したものを閲覧

E: その他(閲覧方法を記載)

4 RBM(Risk-Based Monitoring)受入れの可否 可

#### 6. 教育

1	1	GCPトレーニング実施の有無	有
	_	トレーニング記録の閲覧の可否	可

#### 7. その他

治験関連文書への電子署名の対応可否	可(試験により対応)	
契約書等の電子押印の対応可否	否	
DCTの経験の有無	無	
有の場合:A~Cの中から選択		
A:治験実施施設として B:サテライト施設として C:両方		
DCTの受け入れ可否	否	
受け入れていない場合:相談の可否		
SIPへの登録有無	有	
有の場合:管理状況	個人	
	DCTの経験の有無有の場合: A~Cの中から選択A: 治験実施施設としてB: サテライト施設としDCTの受け入れ可否受け入れていない場合: 相談の可否SIPへの登録有無	

## 実績・アピール等

### 1. 全診療科合計

1	直近1年の新規治験契約数	5		
	過去3年間の治験総数	14		
	国際共同治験	5		
	医薬品治験	13		
2	医療機器治験	1		
_	再生医療等製品治験	0		
	医師主導治験	3		
	EDCを使用した治験	14		
	その他	0		

# 2. 診療科実績(積極的に治験を実施している診療科について)

	診療科名	腫瘍内科・呼吸器内科	
1	直近1年の新規治験契約数	3	
	得意とする疾患・領域	中皮腫・喘息・COPD	
	診療科名	循環器内科	
2	直近1年の新規治験契約数	2	
	得意とする疾患・領域	高血圧・心房細動	
	診療科名		
3	直近1年の新規治験契約数		
	得意とする疾患・領域		

	アピール 1 【症	例集積に対する取組み】	
1	1 アピール2【効	率化に係る取組み】	
1	アピール3【そ	その他】	CMA-Okayama治験・臨床研究ネットワークの活用